

プロジェクト会計ー（事故予防型投資に関する）

『佐野事業所危険物配管ラック更新』の見直し効果の算定

この会計は、リスクアセスメント技術開発の一環として試行したものです。

個別要素の算定精度の向上は今後の課題ですが、本プロジェクトについては、

結論として、経済的な有益性も確保できていると評価できました。

なお、見直し効果の算定は、算定条件や対応行動を確定するものではありません。

1. 事故の想定 （最悪ケースを前提）

- 1) 発見と応急処置の遅れやすい夜間に発生
- 2) メイン配管部が崩落し全液種（13液種）の危険物が漏洩（約2 tを想定）
- 3) 路上に漏洩した危険物は雨水路から下水路に流入
- 4) 緊急遮断弁の作動で流出防止するも、約1/4量（0.5 t）が事業所外の公共下水道へ流出

2. リスク回避効果の算定

1,316.3百万円

1) 事故直接被害額の回避

- ① 損失原材料費 300千円
平均購入単価150円×2000kg
- ② 流出物の回収費 6000千円
10klバキュームカー20台分（処理費含む）
消防署等の指導の下、所外下水路での回収を含む
- ③ 社外損害補償費 10,000千円
末端の公共下水処理場での機能保全に要する緊急対策費の補償などを仮定

2) 復旧対策費の回避

- ① 応急的復旧工事費 20,000千円
損傷部の改修及び非損傷部の仮補強に要する工事費用
- ② 本格復旧工事費 100,000千円
実施済み対策に準じる工事費用

3) 操業停止の損失回避

- ① 売上機会損失 1,000,000千円
概ね10日間の操業停滞を前提
- ② 供給責任補償 50,000千円
一部製品の納期遅延に伴う顧客損害の補償を仮定

4) 労災事故補償額 130,000千円

- ・ 流出事故と関係しないが老朽ラック上のメンテ作業中落下死亡事故の発生を想定
- ・ 労災保険給付基礎日額及び最近の上積み補償額の事例を参考に算定